

平成23年4月6日(水)

荒浜小学校だより

川谷小学校は、10年以上も、宮城県の亶理町にある荒浜小学校と交流学習を行っております。阿武隈川の源流である本校と、阿武隈川の河口である荒浜小学校との交流です。阿武隈川の調査活動、周りの自然探索、海や山での体験活動など、幅広く活動してきました。

今回の震災で、荒浜小がある地域は、津波で大変な被害を受けております。荒浜小学校の高橋校長先生との電話でやり取りをしております。それについては、今までの学校便りに掲載いたしました。(しかし、全員に配付できていませんのでご了承願います。) 4月3日に、PTA 会長、教頭とともに、荒浜小学校に行ってきました。そのご報告をこの紙面にてさせていただきます。

3月11日、地震が発生して1時間後に津波がきて屋上に避難したので、全員が助かったとのこと。波が次第に高くなりこちらにどんどん迫ってきたそうです。

屋上から家や車、船が流されているのを見て、子ども達はとてもビックリしていたとのことでした。

その日は、学校の周りは海となり、水が引かないので、各教室で食事もなく電気もないところで静かに眠ったそうです。とても不安で怖かったと思います。

私たちが、荒浜小学校へと向かう途中、近づくに従って、悲惨な有様を目の当たりにしました。まるで戦場です。

学校の周りの民家は、ほとんどが全壊、半壊です。流されてしまって人が住んでいたとは思えません。最近、自衛隊の皆様のご尽力で、がれきを撤去し、ようやく道路というものが見えてきたということです。

校庭には、車が何台もあり、家や家の中のものが山のようになっています。校舎はしっかりとしていましたが、中の教室の床には泥で固まっていた。3週間もたつのに、乾ききらずにぬかるんだ泥のままの教室もありました。校舎を片付けていくことだって考えられない労力を要することになると思います。

4月26日から、同じ亶理町の逢隈小学校の一部をお借りして開校にこぎつけたそうです。10学級の予定だったそうですが、県外や県内各地へ避難しているため、6学級になってしまうそうです。

学校にいた子ども達は、全員無事だったそうです。とてもよかったです。しかしながら、家族を亡くしてしまったお子さんもいるようです。その子ども達のことを考えると、言葉もありません。

今後、またお知らせしていきます。学校が始まってから援助できることがあればと考えています。

